



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011(851)8188
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	13,177	—	201	—	174	—	137	—
22年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	6.55	—
22年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成22年3月期第3四半期につきましては、連結損益計算書を作成し、個別損益計算書を作成していないため、平成22年3月期第3四半期の「経営成績(累計)」は記載しておりません。【添付資料】P.9 「5.補足情報」をご参照ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,793	2,594	20.3	123.75
22年3月期	12,424	2,449	19.7	116.78

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,594百万円 22年3月期 2,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	17,400	△0.6	250	13.7	200	5.1	150	△8.5	7.15	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	21,039,480株	22年3月期	21,039,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期3Q	70,166株	22年3月期	67,480株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	20,970,451株	22年3月期3Q	20,973,840株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
【第3四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) セグメント情報	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(6) 損益計算書に関する注記	P. 7
4. (参考) 四半期財務諸表(連結)	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
(第3四半期連結累計期間)	
5. 補足情報	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)におけるわが国経済は、新興国向けの輸出の増加や政府の経済支援政策の効果による景気持ち直しが見られましたが、円高の進行や緩やかなデフレ状況が続くとともに、雇用情勢や所得環境の改善も鈍いことから、景気は依然として回復感が弱く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、所得環境の回復の遅れから食品の消費支出が伸び悩み、お客様の低価格志向が継続し製品の低価格化が進行するなかで、夏の猛暑による消費減退も加わり、大変厳しい状況が続きました。

このような情勢下において、当社は経営理念に掲げる「北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長」をめざし、「おいしく、北海道らしく。」というキャッチコピーのもと、製品の品質とサービスの向上をめざし企業活動を進めてまいりました。主要な施策といたしまして、食パン「絹艶(きぬつや)」や菓子パン「北の国のベーカリー」シリーズのリニューアル、「ラブラブサンド」のバラエティ化などによって売上の回復をめざす一方、食品安全衛生の観点からAIBフードセーフティに関する工場監査の継続実施や、職場の環境改善と意識改革を進め、製品ロスや不良品の削減強化をはかってまいりました。

さらに、秋には低価格でお買い得感のある「みんなの食パンANN(アン)」を発売、販売組織の見直しとともに拡販強化に努めました。当第3四半期会計期間(平成22年10月1日～平成22年12月31日)につきましては食パンの売上回復と菓子パンの大幅な伸長によって、増収増益を達成することができました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,177百万円(対前年同期比99.1%)、営業利益201百万円(対前年同期比87.1%)、経常利益174百万円(対前年同期比83.7%)、四半期純利益137百万円(対前年同期比96.8%)となりました。

(なお、前年同四半期の連結経営成績との比較を参考事項として記載しております。)

(2) 財政状態に関する定性的情報

四半期貸借対照表の内容について、一部季節的要因による変動はありますが、前事業年度末との比較で重要な変動はありません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、米国の景気減速、世界経済全体の成長鈍化、急激な円高の影響などを鑑みますと、外需拡大の腰折れが懸念されるとともに、国内景気は先行き不透明感の強まりから回復の力強さに欠けた足踏み状態が続くものと思われまます。

当業界におきましても、お客様の低価格志向が続くなかで販売競争がさらに激しくなり、生産性の悪化、労働コストや原材料価格の上昇が懸念されるなど、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような中、当社は製品の品質向上とお客様にとって価値のある製品投入による売上拡大に注力する一方、組織体制の見直しや、職場の改善活動強化による品質改善と生産ロス低減の実現を果たし、業績の回復に向け、鋭意取り組んでまいり所存であります。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年11月1日に「平成23年3月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間から平成20年3月31日公表の「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

従来、法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法については、四半期末時点で加味する加減算項目や税額控除項目、及び一時差異等の発生状況の把握を年度決算と同様の方法で行っていましたが、四半期会計期間の税引前当期純利益に対する税金費用を平準化させること及び四半期決算における迅速性に対応するために、第1四半期会計期間より、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に、また繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によることとし、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によることと変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、法人税等の算定方法に関する変更の影響額は軽微であり、繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法に関する変更については、当第3四半期累計期間の四半期純利益が13,569千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,251	1,356,048
受取手形及び売掛金	2,254,138	1,983,637
商品及び製品	22,043	40,317
仕掛品	34,917	20,151
原材料及び貯蔵品	204,024	134,191
繰延税金資産	121,496	142,494
その他	71,608	69,845
貸倒引当金	△3,211	△2,240
流動資産合計	4,345,268	3,744,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,452,631	1,466,831
機械及び装置(純額)	1,480,985	1,556,490
土地	4,672,216	4,737,683
その他(純額)	196,789	227,282
有形固定資産合計	7,802,623	7,988,288
無形固定資産		
その他	77,467	80,334
無形固定資産合計	77,467	80,334
投資その他の資産		
投資有価証券	338,007	392,341
投資不動産(純額)	108,967	108,967
繰延税金資産	53,230	46,858
その他	73,264	75,198
貸倒引当金	△5,340	△12,146
投資その他の資産合計	568,130	611,220
固定資産合計	8,448,221	8,679,843
資産合計	12,793,489	12,424,288

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,394,572	2,097,934
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	719,700	740,950
未払法人税等	15,458	21,907
賞与引当金	81,648	164,152
その他	970,603	905,517
流動負債合計	5,831,982	5,580,461
固定負債		
長期借入金	1,295,800	1,250,900
再評価に係る繰延税金負債	1,583,259	1,609,231
退職給付引当金	1,451,026	1,501,883
役員退職慰労引当金	35,320	31,220
その他	1,145	1,445
固定負債合計	4,366,551	4,394,679
負債合計	10,198,533	9,975,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△806,125	△981,821
自己株式	△8,134	△7,899
株主資本合計	237,714	62,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,773	41,078
土地再評価差額金	2,307,468	2,345,816
評価・換算差額等合計	2,357,241	2,386,894
純資産合計	2,594,956	2,449,147
負債純資産合計	12,793,489	12,424,288

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	13,177,602
売上原価	10,059,855
売上総利益	3,117,747
販売費及び一般管理費	
販売費	2,373,465
一般管理費	542,926
販売費及び一般管理費合計	2,916,392
営業利益	201,355
営業外収益	
受取利息	204
受取配当金	6,488
受取賃貸料	6,493
その他	8,853
営業外収益合計	22,040
営業外費用	
支払利息	49,050
その他	8
営業外費用合計	49,058
経常利益	174,336
特別利益	
固定資産売却益	4,894
貸倒引当金戻入額	115
特別利益合計	5,010
特別損失	
固定資産売却損	450
固定資産除却損	15,711
投資有価証券売却損	20,514
特別損失合計	36,676
税引前四半期純利益	142,670
法人税、住民税及び事業税	10,296
法人税等調整額	△4,974
法人税等合計	5,321
四半期純利益	137,348

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 損益計算書に関する注記

固定資産除却損には撤去・解体費用が含まれております。

4. (参考) 四半期財務諸表(連結)

「参考資料」

平成22年3月期第3四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため「参考資料」として、四半期連結損益計算書を記載しております。

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	13,298,094
売上原価	10,257,379
売上総利益	3,040,715
販売費及び一般管理費	
販売費	2,309,332
一般管理費	500,253
販売費及び一般管理費合計	2,809,586
営業利益	231,128
営業外収益	
受取利息	252
受取配当金	6,793
受取分配金	9,199
その他	14,583
営業外収益合計	30,827
営業外費用	
支払利息	53,725
その他	6
営業外費用合計	53,732
経常利益	208,224
特別利益	
固定資産売却益	924
投資有価証券売却益	18,879
貸倒引当金戻入額	3,173
特別利益合計	22,978
特別損失	
固定資産売却損	483
固定資産除却損	45,520
投資有価証券売却損	651
投資有価証券評価損	20,921
特別損失合計	67,577
税金等調整前四半期純利益	163,624
法人税、住民税及び事業税	10,432
法人税等調整額	11,324
法人税等合計	21,756
四半期純利益	141,868

5. 補足情報

当社は平成22年2月1日付で連結子会社である株式会社ノースデリカを吸収合併いたしました。よって、当社は連結子会社がありませんので、当第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、前第3四半期の連結経営成績と当第3四半期の個別経営成績との比較が有用でありますので、以下に記載いたします。

平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

経営成績(累計)

(百万円未満切捨て、%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期(個別)	13,177	△0.9	201	△12.9	174	△16.3	137	△3.2
22年3月期第3四半期(連結)	13,298	△2.1	231	△17.9	208	△18.3	141	△2.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期(個別)	6	55	—	—
22年3月期第3四半期(連結)	6	76	—	—